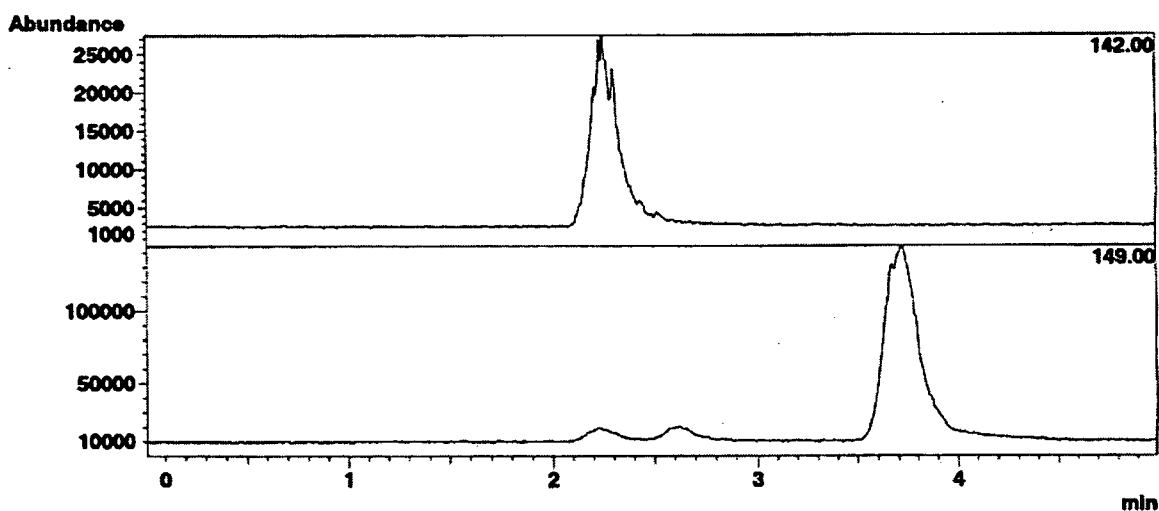


【抽出】

メタミドホス、アセフェート-d6 共に水溶性のため、活性炭 Jr で抽出の検討を行った。

1. 活性炭 Jr にアセトン 20 mL を流す。
2. 次いで、水 50 mL を通す。
3. 試料をカラムに適応する。
4. 水 20 mL で洗浄する。
5. 4 mL のクロロホルム-メタノール(9 : 1)で溶出する。
6. 窒素気流下、45℃で乾固する。
7. メタノール 100 μ L で再溶解し、フィルターろ過する。
8. 10 μ L を LC-MS 試料とする。

・血漿中メタミドホスとアセフェート 1-d6 を活性炭 Jr で抽出した後の SIM クロマトグラフ



【今後の課題】

メタミドホス、アセフェート-d6 共に APCI (+) でイオン化されたことから LC-MS で検出可能であるが、活性炭 Jr で抽出を行った後ではアセフェート-d6 がスタンダードとは異なる保持時間にピークが出現する。

また、メタミドホスの溶出時間の変更を試みたが、メタミドホスあるいはアセフェート-d6 のどちらかしか検出されないなど移動相の詳細な条件検討が必要である。

今後はこれらの化合物を同時に且つ良好に検出できる方法の検討を行う予定である。